

## 台風通過後は 被害前提で



台風通過後の運転再開に向けて、どのように情報を発信すればよいのでしょうか。JR西日本では、被害を受けることを前提に、情報を発信していました。同社のホームページでの情報発信について検証します。

JR西日本ホームページ、9月30日12時00分更新の列車運行情報に、10月1日の運転計画の見通しが示されました。

台風が予想通り進んだ場合、京阪神エリアの各線区において、明日（10/1）の朝通勤時間帯にも列車の運休や間引き運転等、相当の影響が残る見込みです。

※台風の進路、規模により運転計画を変更する場合があります。

台風接近での被害の予想についても、発信しています。

台風の強い雨と風による設備の被害や線路への飛来物等が予想されるため、京阪神エリアの各線区において、明日（10月1日）の朝通勤時間帯は、列車の運転が困難となる見込みです。  
（9月30日 21時30分 更新）

被害を受ける前提も、見込みがつかめれば新たな情報を発信。

台風の強い雨と風による設備の被害や線路への飛来物等が予想されるため、京阪神エリアの各線区において、明日（10月1日）の朝通勤時間帯は、列車の運転が困難となる見込みでしたが、これまでのところ、京阪神エリアでは想定された程の雨風の強さに達していないため、線区によっては運転できる可能性があります。

明日（10月1日）の運転について、今後の台風の影響を踏まえ、10月1日の午前0時頃にお知らせする予定です。  
（9月30日 23時30分 更新）

台風通過後は鉄道設備の損傷や、線路内に支障物が散乱していること等が考えられます。鉄道で働く者にとっては当たり前の話かもしれませんが、台風に備えて運転を取り止めたのですから、被害を前提に考えることが重要です。その上で、確定した情報を周知することが利用者の理解につながります。

## 安全確認も重要な情報です！